

年間事業評価の手法(第1部第3章参照)に基づいて各「課題」への取り組み状況を評価した結果については、以下の評価フォーム記載要領にて記載しています。

課題〇-〇

取り組み例	指標	2002	2003	2004	2005	2006		2007
		(14年度)	(15年度)	(16年度)	(17年度)	(18年度)	(19年度)	
						計画	実績	計画
① ◇◇◇◇◇◇◇◇	(指標1) ○○○○○○○○							
	(指標2) モニタリング指標 ○○○○○○○○							
② □□□□□□□□	(指標3) ○○○○○○○○				新規			
③ △△△△△△△△	—							
評価結果						☆☆☆	☆☆☆	☆☆

○: 優れた取り組みがなされたと評価します。 △: 良好な取り組みがなされたと評価します。 ☆: 今後の取り組みに留意が必要です。
 □: 外部環境の変化等により評価不能。

【注釈】

「課題」の番号と名称

「指標」の「計画値」、
「実績値」を記載
(2005年度に設定した新規指標は、データ入手困難等の事情から、過去の実績値を記載しておりません)

段階評価を記号で記載
(☆☆☆)

段階評価の定義

1. 年間事業計画に掲げている取り組み例に関する評価

・ (指標1) については…

<事例紹介> 事業(国)

・ (指標2) については…

・ 上記指標の対象としていませんが…

・ (指標3) については…

・ …すべく、…に取り組みました。

「取り組み例」(~)
毎の評価を記載

「指標」の達成度の評価
(定量評価、質的側面を加味)

取り組みの実例を分かりやすく示す「事例紹介」

「指標化していない取り組み」の評価
(定性評価)

2. 追加的な取り組みに関する評価 (年間事業計画に予め掲げていないもの)

・ …すべく、…に取り組みました。

計画に予め掲げていない「追加的な取り組み」があれば、評価を記載
(定性評価)

3. 課題への取り組み状況の評価結果

・ 上記に照らし、課題への

○: 優れた取り組みがなされたと評価します。
 △: 良好な取り組みがなされたと評価します。
 ☆: 今後の取り組みに留意が必要です。

・ 今後、…必要があります。

上記評価を総合化した、段階評価を記載

評価結果を踏まえた、業務改善策等を記載